

インタビュー
令和7(2025)年度

株式会社八木澤商店
代表取締役

こうの 河野
みちひろ 通洋氏



震災当日、陸前高田市内で次年度の事業計画について検討していた折に被災されました。社員とともに地域の方を連れて避難したのち、震災直後の2011年4月に社長に就任され、経営者として日々奮闘されています。

震災では工場などの事業場すべてを町とともに失う中、全従業員の雇用を守りながら事業を再開したほか、地域の他の事業者が倒産しないよう、金融機関や行政とともに取り組みました。そして、現在も地域とともに事業を持続する道を模索し続けています。

interview 04

災害への「備え」 できていますか？ 名古屋市防災アプリ



緊急の防災情報が プッシュ通知で届く！

地震や大雨に関する情報、
避難情報などをプッシュ通知
で受け取れます！



知りたい場所の 災害リスクが すぐ分かる！

地域の災害リスクや
避難場所を、
簡単に調べることができます！



マイ・タイムライン が作成できる！

避難先や災害時に
とるべき行動など、
マイ・タイムライン(自分の
避難計画)を作成できます！



クイズで楽しく 防災を学べる！

防災クイズ(初級・中級・
上級)や防災アニメ動画で
気軽に防災を学べます！



クルカモ

今すぐダウンロード！
もれなく安心がついてくるカモ！

アスカモ

名古屋市防災危機管理局防災啓発キャラクター

アプリのダウンロードはこちらから！



iOSの方



Androidの方

お問合せ先

名古屋市防災危機管理局総務課
TEL.052-972-3530 FAX.052-962-4030

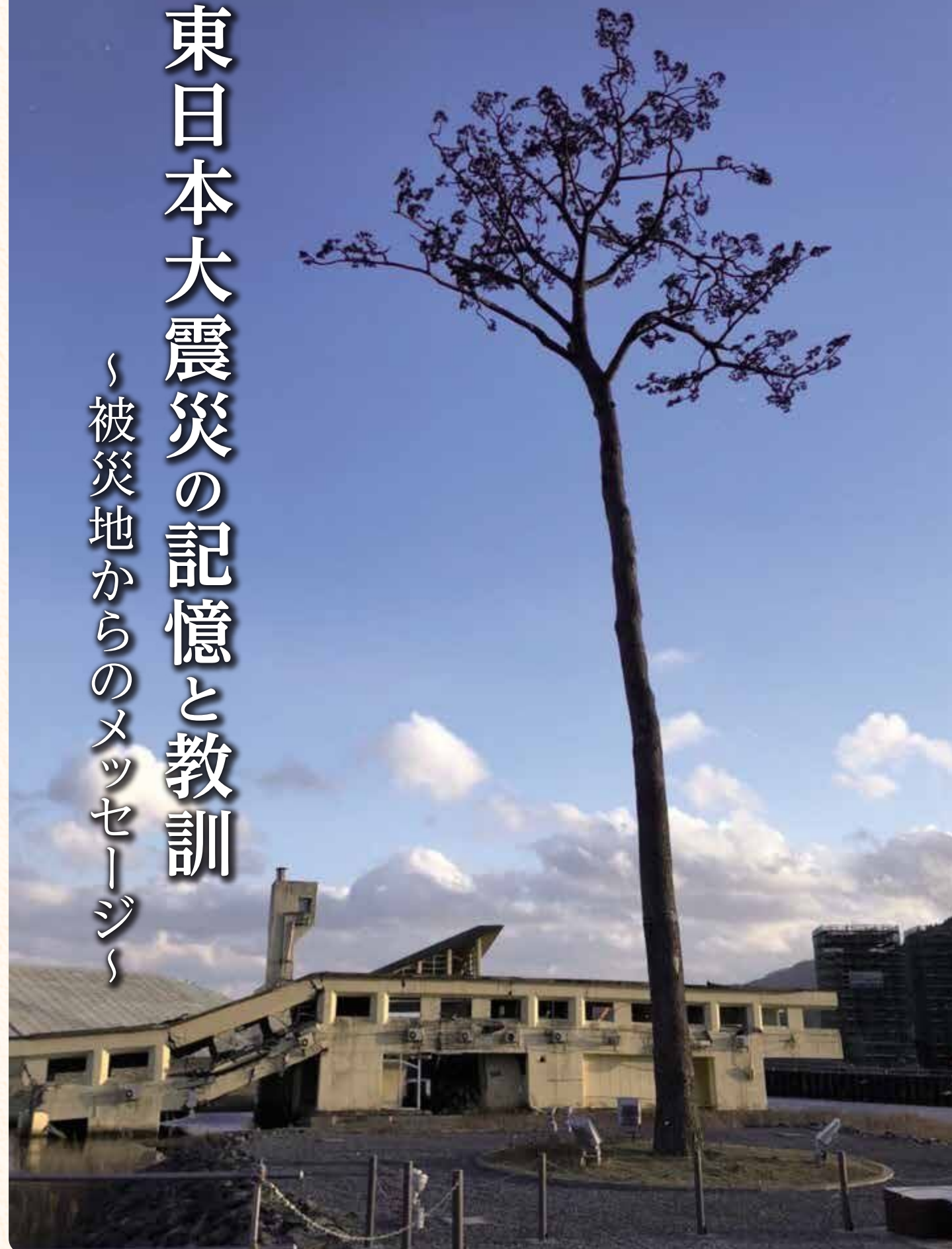
Facebook
(名古屋市防災)



X (旧Twitter)
(名古屋市防災)



東日本大震災の記憶と教訓 ～被災地からのメッセージ～



名古屋市

趣 旨

平成23(2011)年の東日本大震災から15年が経過し、被災をした地域では、震災の記憶と教訓を語り継ぎ、同じ悲しみを二度と繰り返さない伝承の取り組みが進められています。

そこで防災危機管理局職員が実際に現地に赴き、震災遺構の視察を行うとともに、岩手県陸前高田市で東日本大震災を経験された方々に震災の記憶と教訓について貴重なお話を伺い、動画としてとりまとめました。

本市では、南海トラフ地震の発生が懸念されており、今後30年以内に発生する確率が60～90%以上と予測されるなど、一段と大規模地震発生切迫度が増しています。

自分や大切な人の命と暮らしを守るため、日頃からの備えや地震が起きたときにどう行動するのか、「今」考えておきましょう。



東日本大震災10年 名古屋市被災地支援記録誌 -陸前高田市への丸ごと支援と交流の歩み-

名古屋市の被災地支援の取り組みや交流について、より詳細にまとめた冊子も発行しています。ぜひご覧ください。



東日本大震災の被害状況(令和3年3月1日時点)

全 国

人的被害(人)	死者	19,782
	行方不明者	2,550
	負傷者	6,242
住居被害(棟)	全壊	122,053
	半壊	284,074
	一部損壊	750,069
	床上浸水	1,490
	床下浸水	9,785
被害(棟) 非住居	公共建物	14,527
	その他	93,869
火災(件)		330

■出 典
平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)の被害状況
(令和7年3月1日現在)総務省消防庁 災害対策本部 令和7年3月10日
<https://www.fdma.go.jp/disaster/higashinihon/items/165.pdf>

陸前高田市

平成23年2月28日当時の人口(人)		24,246
人的被害(人)	死者	1,606
	行方不明者	201
	負傷者	不明
平成23年2月28日当時の世帯数		8,069
住居被害(棟)	全壊	3,807
	半壊	240
	一部損壊	3,988
被害(棟) 非住居	公共建物	61
	その他	不明
火災(件)		1

■出 典
「陸前高田市東日本大震災検証報告書 資料編」陸前高田市 平成26年7月
平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)の被害状況
(令和7年3月1日現在)総務省消防庁 災害対策本部 令和7年3月10日
<https://www.fdma.go.jp/disaster/higashinihon/items/165.pdf>

インタビュー 令和5(2023)年度

株式会社ひみつきち 代表取締役
有限会社フランセ 代表取締役

い と う さ と る
伊藤 英 氏



interview 01

震災当時は陸前高田市に隣接する大船渡市で美容師をされていました。震災によりお母様を亡くされ、遺体安置所をめぐりながらご自身は中学校の体育館で避難所生活を送られました。

被災して約1カ月後に岩手県内陸に位置する一関市で再び美容師として勤務された後、震災復興支援を行う一般社団法人にて3年間ご尽力されました。

その後、東京都で美容師として4年間勤務され、陸前高田市で学んだことが東京都で通用することを実感し、現在は陸前高田市と大船渡市で美容室を運営されています。

インタビュー 令和5(2023)年度

東日本大震災津波伝承館
解説員

く ま が い は づ き
熊谷 葉月 氏



interview 02

震災当時は16歳の高校1年生で陸前高田市内の高校に通われていました。被災後は、避難所で約50日、仮設住宅で約2年間生活しながら、近隣の高校に通い、高校卒業後は、群馬の大学に進学後、名古屋の企業に就職されました。

2019年に陸前高田市に戻り、現在は陸前高田市にある東日本大震災津波伝承館にて解説員として働き、震災の事実と教訓を来館する人々に伝えられています。

インタビュー 令和6(2024)年度

イドバダ・アップル
代表

よ し だ つ か さ
吉田 司 氏



interview 03

震災以前はホテル従業員として働いており、地元の陸前高田市で被災されました。震災が起きて間もないころ支援物資に混ざっていた地元のりんごの味に驚き、さらに市内のりんご農家の担い手不足に衝撃を受け、2017年、40歳で新規就農されました。現在は陸前高田市米崎町にて20種類以上のりんごを取り扱う農園を営んでいます。

「先人から受け継いだ文化を進化させ、次の世代につなぐ」を経営理念とし、130年の歴史ある「米崎りんご」を育てています。

●名古屋市公式YouTubeまるはっちゃん〜ぶにて公開されています。

動画はこちらからご覧ください▶

